

エスペラント ★

Verda Placo 2015 somero

みどりのひろば 2015年 夏

N-ro 31

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



Fotis s-ro TADA Ryuji (la 7an de Julio 2015)

はりまエスペラント会 KLEG 賞を受賞する。

稲田正昭

私にとって関西エスペラント大会を体験するのは今回で四回目です。一回目は姫路、二回目は和歌山、三回目は姫路、四回目は京都、一回目の姫路は何か分からないままに過しま



した。和歌山は姫路に参考となるものは何かないかと思い探しながらの参加、そして姫路は、ご存知のように参加ではなく主催なので必死でした。四回目の京都は姫路の大会へ参加して頂いた御礼を込めたものでした。会場である京都国際交流会館は地下鉄の最寄り駅より5分程の所に有り、京都にしては静かな所でした。さて大会ですが、私は実質上一日目の昼過ぎから開会式終了までの参加で、全体を体験しての感想を述べることは出来ません。ただ私が感じたのはエスペランチスト間の仲間意識、学習への熱意です。でも会館が広いせいなのか館内は静かで、その意識・熱意があまり漏れ出てきていませんでした。これで良いのか、

どうすれば良いのか、ただ、自問自答するだけでした。

最後に、はりまエスペラント会に頂いたKLEG賞を受賞した時の御礼の言葉を下記に記します。

Mi esprimas nian karan dankon en la nomo de Harima Esperanto-societo.

Tio instigas nin pli diligent labori por disvastigi Esperanton.

Nun, ni denove dankas vin pro viaj kunlaboroj en la lastajara kongreso en Himeji. Koran dankon.

第63回 関西エスペラント大会に参加して

三鍋ひとみ

あいにくの雨が降ったりやんだりのお天気でしたが、6月20日、21日の両日、京都市国際交流会館で関西エスペラント大会が開催されました。私たちは、はりまエスペラント会の仲間3人で、大会の前日より2泊3日の小旅行気分で参加しました。大会が始まり最初に感じたのは、司会者や実行委員の方々をみて、京都エスペラント会のレベルの高さでした。まだ何もわからない私ですが、やわらかくて、しっかりとした発音と、その表現力に魅せられた思いがしました。

開会式では、来賓の方や関係者の方々の挨拶に続き、はりまエスペラント会がKLEG賞を受賞しました。改めて峰先生や皆様の団結力のすごさを感じ嬉しかったです。エスペラント入門講座では、講師の先生が最後まで来られず、ハラハラしましたが責任者の方と補佐の方が一生懸命、楽しく教えて下さいました。Gaja Vesperoでは、武道「和良久」。意味はわからないのに、やさしさと、とても力強さを感じました。日本舞踊「祇園小唄」も地元京都を感じて、とても印象的でした。2日目、発音講座に参加したかったのですが、あいにく喉の調子が悪く声が出なかった為カキラ「ろっ骨エクササイズ」に参加しました。呼吸法と共にろっ骨を動かし、身体を調整していくというエクササイズです。とは言っても、このガタのきたわが身が1回位やったからといって、どうなるものではありません。インターネットにも紹介されているそうなので、また思い出しながら続けられるといいのですが・・・。

一般公開番組の、ミュージックベルコンサートはとても感動しました。「あおい苑」の仲間たちのベルの演奏に心が洗われた気がします。野田淳子さんの力強い歌にもいっぱい元気をもらいました。またミュージックベルを指導されているのが、92歳になる野田淳子さんのお母様と聞き、感動の連続でした。本当にすてきな時間をありがとう！ハルペン・ジャックさんの講演会も、大変意義深いものでした。語学に強くなるには、自分の実力より少しだけむずかしい本をたくさん読むこと。ぜひ実践していきたいと思います。この2日間は「おほもと」の亀岡本

部に宿泊させて頂き、とてもりっぱな植物園を散策したり、ギャラリーでは出口王仁三郎の「ようわん」に感嘆したり、また初めてのお茶会でドキドキしたり、大会も含めて大変有意義な時間を過ごせました。関係者の皆様お疲れ様でした。そして、有難うございました。

大会参加者：大前、多田、塚本、中村、馬場、水谷、三鍋

不在参加者：久保田、中川、峰、吉田



Rakonto pri Ĵeiku (3)

BABA Tokie

Unu jaro pasis post Ĵeiku venis al mia hejmo. Senŝanĝe li estas tre timema. Li bojas kontraŭ iu ajn forte, kiam li estas en domo kun mia familio. Sed, se li gardas domon unu sola, li ne povas boji. Mia amikino parolis tion kaj ridegis.

Korpo de Ĵeiku fariĝis 7 kilogramojn peza. Pli pezigi la korpon estas malbone. Tio estas problemo. Oni diras ofte melhundo suferas hernion facile. Sekve melhundo devas ludi sporton. Sed Ĵeiku ne amas promeni en tago. Inter homoj li estas malforta. Sekve mi decidis promeni nokte.

Ni ĉiutage promenas je la 10a horo en nokto. Ni iras al proksima stadioneto. Tie mi lasas lin. Li ekkuras rapide, tutforte kaj ĝoje. Mi rondiras 3 fojojn ĉirkaŭ stadioneto. Ĵeiku kuras antaŭ min 30 metroj kaj tuj li reiras al mi. Li ripetas plurfoje. Sekve li kuras tie preskaŭ 1 kilometrojn. Ĉi tia sporto estas suficxa, ĉu ne?

Tiam mi paŝas aŭdante kasetan sonbendon. Kompreneble tio estas esperanta kaseto. Mi pensas, ke tio trafas du birdojn per unu ŝtono por mi.

Rond 創立の頃

峰 芳隆

「はりま」の前身の姫路エスペラント会が創立されてから 50 年。この機会に、その頃のことを記録しておきます。

1965 年春、私は、尼崎での 2 年間の「学生」生活を終えて、姫路の広畑製鉄所に戻りました。その間に、関西エスペラント連盟の事務所で宮本正男に出会いました。それは、私の人生を決定付けるものでした。宮本さんから、姫路に Rond (rondo) を作ることを勧められました。その 2 年前から、姫路工大にエスペラント研究会があり、同会は 1963 年度の KLEG 賞を受賞していました。その中心の田中豊彦と一緒に呼びかけをして、日本エスペラント学会（現・協会、JEI）からも姫路在住の会員を紹介してもらって、Rond の設立にこぎつけました。

創立の会は、1965 年 5 月 7 日、姫路の喫茶店 ACB (アシベ) で。出席者は、向井孝、稲田正昭、西本勝次、佐野邦夫、峰芳隆（以上 JEI 会員）、久保田俱視、黒田（吉田）信子（以上、大本）、田中豊彦、木下一男、山路敏（以上、姫路工大）、久斗ふさ子（田中が指導する講習会受講者）の 11 人。次のことを決めました。

- ①名称は、姫路エスペラント会とする。
- ②毎週 1 回集まり、学習する。
- ③会費、月 200 円（学生 100 円）
- ④会長：向井孝。事務所も向井方。会計：峰芳隆。
- ⑤関西エスペラント連盟に加盟する。

翌週から、手柄山青年の家で週例会を始めましたが、のちには、おおもとはりま分苑（現・本苑）、さらに亀井町の富士文化センターや喫茶店「田中屋」などで例会を継続しました。

同年 8 月、東京で第 50 回世界エスペラント大会が開催されました。向井さんは、大会で、戦争抵抗者インターナショナル (Internacio de Militrezistantoj) 分科会を司会したそうですが、私は家庭の事情で東京に行くことができませんでした。大会後、ベルギーのシャルルロア・エスペラント会の s-ro Robert de Kegel がシャルルロア市長のメッセージを持って来訪し、向井さんの斡旋で、市助役との面談が実現。当時、シャルルロアとの姉妹都市提携計画が進行中で、新聞にも載りました。

その年の秋、10月16日から10回の入門講座を姫路労働会館で開催し、私が講師を務めました。新聞の催し欄やポスターなどの広報で、42人の受講がありました。終了後の継続学習にも16人が参加。写真は、1966年の新年会の後、姫路公会堂（現・市民会館）前で。



前列左から：松井利成，本多恭子，佐野（尾上）十糸子，黒田（吉田）信子，佐野邦夫。後列左から：内海正三，向井孝，橋詰啓明，梶原輝久，田中豊彦，川平憲秋（撮影：峰芳隆）。

1966年11月には、姫路文連の「姫路フェスティバル」で、エスペラントで集めた世界の平和ポスター展を実施。ポスター類は、おもに向井さんが集めたものでした。一連の活動が評価されて、同年の姫路文連の第5回文化賞を受賞。さらに、それらの活動により、1967年の関西大会でKLEG賞を受賞しました。（daŭrigota en la sekvanta numero）

*** 第100回世界エスペラント大会がフランス・リールで7月25日（土）から8月1日（土）まで開催されます。**

はりまエスペラント会から塚本会員が参加されます。

7月24日（金）に関西空港を出発して、8月4日（火）に戻ってきます。たくさんのおみやげ話を期待して、お元気に大会、旅行を楽しんでください。

7月29日（水）にリースとスカイプがつながるかどうかわかるかどうか、はじめての海外からのスカイプ学習です。（記 多田）

☆近況報告 Kiel mi plu vivas kaj kion mi faras...

昨年7月、関西大会の後始末を終わって、ヤレヤレと思っていた時、治療中の前立腺ガンがリンパ節に転移している宣告されました。そのため、大会の1年前から中断していた抗がん剤による治療を再開せざると得なくなりました。数週間毎の投与後の2・3週間は、外出できません。しかし、自宅で、パソコンを使うことができるので、関西連盟の図書部員として、本作りを手伝うことにしました。その結果、この1年間に、次の3点を編集し、印刷用の版下を作ることができました。

Esenco kaj estonteco de la ideo de lingvo internacia

(ザメンホフの「国際語思想の本質と将来」)

Ekzercoj de Zamenhof (ザメンホフのエスペラント基礎文例集)

La dek bildoj de bovpaŝtado (エスペラント訳「十牛図」)

これ以外にも、新訳「日本国憲法」の出版を連盟に提案して、それが実現したことも、喜びでした。また、治療と重ならない時には、姫路の月例会に出て、皆さんとお会いすることも楽しみです。(峰芳隆)

* 創作動画の進捗について * * * *



7月11日(土)13時からイーグレひめじのボランティア室にて動画の音声入力の作業を行った。水谷会員の友達鷺尾さんの応援もいただき順調に進んだ。

たくさんの方から「動画作製カンパ」をいただき、大変感謝しています。

予定通りに編集が進めば、8月の上旬には完成する予定です。後日、ご連絡しますが、8月22日(土)14時からイーグレひめじ4Fボランティア室に動画のお披露目を予定しています。同時に塚本会員の世界大会参加の報告も企画したいと思います。皆様のご参加を期待しています。

(写真中央が鷺尾さんです。)(多田)

学習例会の記録 Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

<姫路：イーグレ第4会議室> 学習例会は午後1時半～4時

- 4月4日(土) 中村、大前、三鍋、馬場、水谷
- 4月23日(木) 中村、大前、三鍋、馬場、山岸、峰
- 5月16日(土) 中村、塚本、三鍋、馬場、水谷
- 5月28日(木) 中村、大前、三鍋、山岸、峰
- 6月6日(土) 塚本、大前、三鍋、馬場、水谷
- 6月25日(木) 中村、大前、山岸、馬場、峰

、CDエクスプレス中心に、土曜日は水谷会員中心の学習。

<加古川：加古川総合文化センター> 学習例会は午後2時～4時

- 5月24日(日) 塚本、多田、馬場

作文課題の復習、“Katrina malfruas”, の輪読、訳 k t p

<Skajpo> 学習は毎週水曜日 20時～21時

- 5月6、13、20、27日 6月4、11、18、25日
- 7月2、9、16日、動画について、pri mia semajna okazaĵo

今後の予定 Kie, kiam ni kunvenos?

★姫路 (第4木曜日、午後1時半～4時、イーグレ第4会議室)

- 7月23日、8月20日、9月24日、10月22日

* 月1回土曜日午後にボランティア室で学習会の予定

★加古川 (午後2時～4時、加古川文化センター第3会議室)

- 7月19日、9月20日、11月15日

“Turismo en Harima regiono” 作成予定

★Skajpo (毎週水曜日 20時～21時)

編集後記：第63回関西大会も終り、スカイプ学習も何とか軌道に乗り
50周年に一環とした『動画』創りも大詰めを迎えています。

世界大会に塚本会員が参加されます。いっそう、エスペラントの学習に
励みたいところです。

★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 31 2015年7月17日

発行：はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

(671-1222 姫路市網干区宮内106-3 稲田正昭)

編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 t-ryuji@sky.plala.or.jp

